

### 1. 実況上の着目点

① 500hPa 5580m付近のトラフに対応した山陰沖の低気圧は前線を伴い、暴風警報級の勢力で北東進。前線は、日本海から四国の南を通り南西諸島付近へのびている。前線近傍で猛烈な雨を解析し、発雷とメソサイクロンを多数検知。西日本で非常に強い風を観測。

② 500hPa 5640m付近で-18℃以下の寒気を伴うトラフが華北を東南東進。

③ 前線を伴う沿海州の低気圧が東北東進。

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の山陰沖の低気圧は、4日夜にか

けて日本海を北東進し、その後、不明瞭化する。前線は低気圧から離れ、6日朝にかけて本州の南岸付近を東北東進し日本の東へ進むが、南西諸島付近では前線が停滞する。1項②の華北のトラフは次第に深まりながら6日朝にかけて、西～東日本を通過し、日本の東へ進む。低気圧や前線に向かう850hPa 相当温位 327K以上の下層暖湿気、トラフに伴う上空の寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴う非常に激しい雨の降る所がある。低気圧や前線と日本の東の高気圧との間で気圧の傾きが急となり、非常に強い風が吹き、しける所がある。四国地方では4日は大雨に警戒し、東日本と南西諸島では5日にかけて、西日本では4日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷、突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。全国的に5日にかけて、暴風、高波に警戒・注意。北～東日本では6日は、強風、高波に注意。

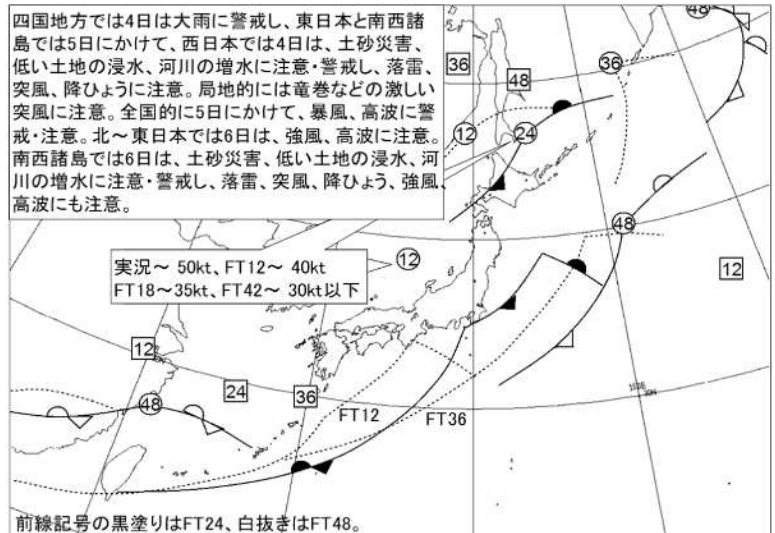
② 6日朝までに、500hPa 5760m付近の強風軸に対応した前線を伴う低気圧が東シナ海で発生し、その後、南西諸島付近へ進み、前線は日本の南から華南へのびる。500hPa 5280m付近で-30℃以下の寒気を伴うトラフに対応した低気圧が日本海中部で発生し、シアラインが日本海北部から対馬海峡付近へのびる。低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴う激しい雨の降る所がある。低気圧や前線の影響で、強い風が吹き、波が高くなる所がある。南西諸島では6日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷、突風、降ひょう、強風、高波にも注意。シアラインに向かう下層暖湿気や上空の寒気の影響で、北～東日本でも6日は、大気の状態が不安定となる可能性に留意。

③ 西日本では5日以降に黄砂が飛来する可能性に留意。北・東日本の多雪地では6日にかけて、なだれや融雪に注意。

**3. 数値予報資料解釈上の留意点** 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

**4. 防災関連事項 [量的予報等]** ① 雨量(18時からの24時間)：東海150、四国130、伊豆諸島・沖縄100mm。② 波浪(明日まで)：東北・関東・伊豆諸島・東海・近畿・四国5、北海道・九州北部・九州南部4、北陸・中国・奄美・沖縄3m。③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。東～西日本では注意報基準を超過する所がある。

**5. 全般気象情報発表の有無** 発表の予定はない。



主要じょう乱解説図